

小林宣夫町長は、平成29年第1回町議会定例会の開催にあたり、平成29年度町政執行方針を発表しました。その中から、今後の町の取り組みをお伝えします。

安全・安心で活力あるまちづくり

健全財政の維持

財政運営においては、町債発行額の抑制、財政調整基金等の適正規模の確保、自主財源の積極的確保、施策事業の重点的かつ効果的な実施など、健全財政を維持しながら、質の高い行政サービスを持続的に提供できるよう努力していきます。

第6次総合計画の策定

町政運営の基本的指針である「第5次総合計画」が平成29年度をもって終了することに伴い、平成30年度からの新たなまちづくりの方向を示す「第6次総合計画」の策定を行います。

茨城町まち・ひと・しごと創生総合戦略

人口減少の克服や地域課題の解決に向けて、本戦略に基づき、引き続き関係機関団体等と連携を図りながら、交流人口の拡大や定住促進等に関する事業を進めていきます。

その一環として、平成27年度から配置した「地域おこし協力隊」

豊かさを実感できる活力あるまちづくり

農業の振興と産業の活性化

茨城町の安全・安心な農畜水産物のPR等に取り組みます。また、都市農村の交流事業として実施している農業体験や農家民泊については、引き続き関係機関との連携に努め、インバウンド対応の充実を図りながら推進していきます。

国営緊急農地再編整備事業「茨城中部地区」

平成28年度に事業がスタートし、8月1日に町内に「国営茨城中部農地整備事業所」が開設されました。早期の工事に着手に向けて、各地の調査設計、換地計画作成等に協力していきます。さらに、農地利用の最適化については、農地集積推進協議会の活動を中心として、農地貸借の円滑な合意形成を推進する新たな支援、遊休農地解消に関する取り組みを支援し、担い手農家への農地集積・集約化を推進していきます。

茨城町農業公社

農地中間管理事業を活用した担

や「集落支援員」の活動をより一層充実させ、地域に密着した活動の積極的な展開を図ります。

町の情報発信

本年1月に募集を開始した茨城町のファンクラブ「いば3ふるさとサポーターズクラブ」の会員増を図りながら、本町に愛着を持つ人たちの協働により、SNS等を活用した情報発信力の強化を図り、さらなる町のイメージアップに貢献できるよう努めます。

健やかな心身と思いやりを育む安心のまちづくり

健康づくりへの取り組み

「第2次茨城町健康増進計画・食育推進計画」の各分野において目標達成に向け、乳幼児期から高齢期まで各ライフステージに合わせた取り組みを推進していきます。

いきいき健康づくり推進事業

関係団体と連携して、生活習慣病予防及び認知症予防に重点を置いた教室を開催し、町民の健康づくり意識の向上に努めていきます。

企業誘致

平成28年度、茨城工業団地において、2社が新たに操業を開始するとともに、1社が増設し、残り区画は1区画のみとなりました。また、茨城中央工業団地においても新たに1社が契約を締結し、平成29年度の操業開始を予定しております。町内の工業団地立地企業数は、計18社となります。

今後は茨城中央工業団地を中心に、「茨城産業再生特区

の税制優遇措置」や内容を拡充した町の奨励制度を活用し、県及び県開発公社などの関係機関と連携を図りながら、誘致活動に努めていきます。

消費者行政

国、県、関係機関等と協力して、相談体制の一層の充実強化を図り、町

健康診査事業

医療機関で受診する胃がん検診において、リスク検査を併せて実施し、効果的な胃がんの早期発見、早期治療に努めていきます。

障害者支援事業

地域自立支援協議会及び差別解消支援地域協議会において、困難事例や地域の課題を解決し、障害者福祉サービスの充実を図ります。

充実した教育と安心コミュニティのまちづくり

学校教育関係

児童生徒がふるさと茨城町を知り、ふるさとに対する愛着や誇りを持つことを目的とし、新たな教材として「茨城町ふるさと学習のすすめ」を作成します。また、児童生徒の学力向上を図るため、個々の能力に応じたきめ細かな授業を行う「学習指導支援講師配置事業」を引き続き実施す

民の安全・安心な消費生活を支援していきます。

防災

災害時用備蓄品の整備及び防災行政無線のデジタル化更新工事を実施し、防災力の向上を図ります。

消防

町民の生命・財産を災害から守るため、消防施設及び新たな資機材の整備を行うことにより、各種災害に対応できる防災体制の構築を進めていきます。

また、災害発生時における初期

対応力の向上を図られるよう、町民及び各事業所などを対象とした、防災訓練指導や応急手当講習会を実施していきます。

交通安全対策

警察や関係団体と連携し、交通ルールの遵守等に関する啓発活動や交通安全施設の整備を



学校教育関係ICTを活用した授業

るとともに、老朽化した学校施設の改築を行います。また前年度に続いてICTを活用し、児童生徒の学習意欲の向上を目指し効果の上がる学習ができるよう学習環境の整備を推進していきます。



安全で快適な生活環境整備を目指すまちづくり

濁沼の水質改善

河川等から流入する水の水質汚濁が少しでも改善できるよう、生活排水対策を積極的に推進するとともに、不法投棄に対するパトロールを強化します。

ごみ処理の広域化

霞台厚生施設組合において、一般廃棄物処理施設整備基本計画及び基本構想が策定され、2月から入札公告が開始されました。引き続き関係市町と連携を図り、整備計画が着実に進められるよう努めていきます。

インフラ整備

国・県道の整備促進を関係機関へ働きかけるとともに、町道120号線及び202号線等の幹線道路の整備を進めます。また、生活道路の環境向上にも重点を置いて事業を推進します。



交通安全対策啓発活動の様子